

共同利用・共同研究拠点セミナー

第6回 分子細胞制御学セミナー

【演題】 核内I κ Bファミリータンパク質I κ B- ζ を介した炎症応答における遺伝子発現制御とその破綻

【講師】 東北大学大学院 生命科学研究科
牟田 達史 教授

【日時】 2013年2月25日(月) 午後5時より

【場所】 生体調節研究所 1階 会議室

【要旨】

炎症刺激に伴う遺伝子発現誘導には、転写因子nuclear factor (NF)- κ Bが重要な役割を果たしており、近年、その活性化機構が詳細にわたって精力的に解析されている。一方、炎症応答のみならず、発生や分化、ストレス応答など多彩な局面で重要な機能を果たす多機能転写因子であるNF- κ Bによる、刺激に応じた選択的遺伝子発現には不明な点も多い。我々は、自然免疫刺激によって強く発現誘導される遺伝子としてI κ B- ζ を同定し、この因子が刺激特異的に誘導され、核内でNF- κ Bと会合し、その選択的遺伝子発現に必須の役割を果たすことを示した。本講演では、明らかになりつつある炎症応答制御におけるI κ B- ζ の多彩な機能とその破綻による病態について紹介するとともに、I κ B- ζ の解析より見えてきた感染に依存しない炎症「自然炎症」についても言及したい。

【参考文献】

Yamazaki *et al.* (2001): *J. Biol. Chem.* 276, 27657-27662.

Yamamoto *et al.* (2004): *Nature* 430, 218-222.

Okamoto *et al.* (2010): *Nature* 464, 1381-1385.

Okuma *et al.*, *under submission*

【連絡先】 群馬大学 生体調節研究所 分子細胞制御分野

徳永 文稔 Tel: 027-220-8865

E-mail: ftokunaga@gunma-u.ac.jp